



2020年9月22日  
第35号

# JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.ireu-yokohama1.jp/>



## 2020地本政策フォーラム開催②

地本車掌分科会「車掌から考えるワンマン運転 誰一人として雇用不安にさせないために」

①ワンマン運転開始時には、線区の特情と乗務員の意見を踏まえた安全対策と設備を整えること

②ワンマン後の異常時に「想定外」という言葉を使わないこと

③ワンマン化による車掌職の余力は、本人希望を面談で把握し、最大限尊重して全員の雇用を守ること



鎌倉駅・大船駅・藤沢駅合同『営業職場の「安全・サービスの向上」を目指しプロとなる教育を！

営業職場のプロを育てるためにも自信をもって担務を担う教育体制が必要で、後輩への指導や技術継承に繋がることや転勤者や経験者については駅の特情を把握できる教育体制を求める

国府津運輸区分会「新人車掌及び異動者の線見教育の適正期間の研究」

他区からの異動者については2ヶ月、新人車掌については2ヶ月プラス1週間が最低でも必要である



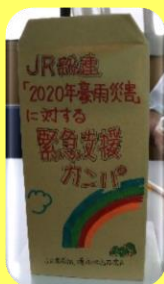
今回の政策フォーラムは発表ありきではなく、職場活動にこだわり、問題の発掘から問題の解決に向けた全課程を大切にしようという議論ができました。そのような形で、支部政策フォーラムを含め、19機関20提言をまとめていただきました。まだスタートしたばかりのものや団体交渉が必要なものまで多岐にわたりますが、職場でイキイキと議論できることが重要です。横浜地本は、発表された提言を精査し「コロナ禍での生活と働き方」をテーマに全系統の全組合員に関わる政策提言として練り上げていきたいと思えます。今後はそのためのプロシエクトを発足させます。全組合で危機の認識を一致させ、組織拡大につなげていきましょう。



梶田書記長  
まとめ  
(要旨)

JR 総連「2020豪雨災害」に対する緊急支援カンパを取り組みました！

合計 9,036 円集まりました。ご協力ありがとうございました。JR 総連を通じて被災された仲間へ届けます。



困った時こそ助け合い

## 各機関：優秀賞



おめでとうございます！

職場から議論を積み上げ本部政策フォーラムで

組織の意志へ高めよう！